

問1 太陽を直接見ると目をいためてしまうため、しゃ光板を使うのはどのようなときですか。

1. 方角を調べるとき 2. 太陽の動きや形を観察するとき 3. かげの長さを調べるとき 4. 日なたと日かげの温度を比べるとき

問2 温度計を使って空気のあたたかさをはかったとき、温度の表し方として正しいものはどれですか。

1. 20 cm 2. 20℃ 3. 20秒 4. 20 g

問3 日光をさえぎるものがあるとき、太陽と反対側にできる暗い部分のことを何といいますか。

1. かげ 2. かげ 3. あかり 4. ひなた

問4 校庭に、棒（ぼう）や木、人間など、いろいろなものが立っています。太陽の光が当たったとき、これらのかげの向きはどうなりますか。

1. 背が高いものと低いもので向きが変わる。 2. 立っている場所によってバラバラの向きになる。 3. すべて同じ向きにできる。 4. 生き物とそうでないもので向きが変わる。

問5 かげができるのは、どのようなことがおこったときですか。

1. まわりの温度が急に下がったとき 2. 日光をさえぎるものがあるとき 3. 太陽の光がすべて消えてしまったとき 4. 日光がさえぎられずに通りぬけるとき

問6 太陽（たいよう）から出ている光のことを、何といいますか。

1. 月光（げっこう） 2. 電灯（でんとう） 3. 星の光（ほしのひかり） 4. 日光（にっこう）

問7 日光（にっこう）が当たっている場所は、日光が当たっていない日かげとくらべて、どのようなちがいがありますか。

1. 風が強い 2. 暗い 3. あたたかい 4. つめたい

問8 同じ場所に立っているいくつかのものに太陽の光が当たるとき、できるかげの向きについて正しいものはどれですか。

1. どれも同じ向きにできる。 2. ものの形によってちがう向きにできる。 3. ものの色によってちがう向きにできる。 4. ものの大きさによってちがう向きにできる。

問9 北に顔を向けて立ったとき、あなたの右がわにあたる方向はどれですか。

1. 北 2. 西 3. 南 4. 東

問10 北に顔を向けたとき、右がわが東、左がわが西になるような、方向をあらわす言葉を何といいますか。

1. ほうい 2. かげ 3. じかん 4. おんど

問11 日光が当たっているところのことで、地面が明るく、あたたかくて、かわいている場所を何といいますか。

1. 日食 2. 日なた 3. 日かげ 4. 夕やけ

問12 日光が当たっていない暗いところのことで、地面がつめたく、少ししめっている場所を何といいますか。

1. 日なた 2. 地面 3. 太陽 4. 日かげ

問13 日なたの地面のようすについて、正しく説明しているものはどれですか。

1. 明るいが、つめたくて、しめっている。 2. 暗くて、つめたくて、しめっている。 3. 明るくて、あたたかくて、かわいている。 4. 暗いが、あたたかくて、かわいている。

問14 温度計を使ってものの温度を正しくはかるとき、ものの温度が伝わるのは温度計のどの部分ですか。

1. えきの先（えきだめ） 2. ひもをつけるあな 3. ガラスのつつ 4. めもりの数字

問15 太陽が動くと、それにとまって地面にできたかげも動く現象を何といいますか。

1. かげの形 2. かげの動き 3. かげの長さ 4. かげの濃さ

答え合わせ・解説 No.1

問1	答え 2 太陽の動きや形を観察するとき	しゃ光板は、目をいためないように太陽を直接見るときに使います。
問2	答え 2 20℃	温度を表すときは、「℃」という単位を使って表します。
問3	答え 1 かげ	日光がさえぎられたときに、太陽と反対側にできるものを「かげ」といいます。
問4	答え 3 すべて同じ向きにできる。	もののかげは、どんなものであっても、すべて同じ向きにできます。
問5	答え 2 日光をさえぎるものがあるとき	かげは、日光をさえぎるものがあるときに、太陽と反対側にできます。
問6	答え 4 日光（にっこう）	太陽から届く光のことを「日光」といいます。地球をあたたく照らしてくれます。
問7	答え 3 あたたかい	日光には地面や空気をあたためる性質があるため、日光が当たっている場所は日かげよりもあたたかくなります。
問8	答え 1 どれも同じ向きにできる。	もののかげは、ものの形や大きさ、色に関係なく、どれも同じ向きにできます。
問9	答え 4 東	北に顔を向けると、右がわは東になります。ちなみに、左がわは西になります。
問10	答え 1 ほうい	北、南、東、西などの方向をあらわす言葉をほういといいます。北を向いたとき、右が東、左が西になります。
問11	答え 2 日なた	日光が当たっている場所のことを「日なた」といい、地面は明るく、あたたかくて、かわいた状態になります。
問12	答え 4 日かげ	日光が当たっていない暗い場所のことを「日かげ」といいます。
問13	答え 3 明るくて、あたたかくて、かわいている。	日なたは日光が当たっているため、地面は明るく、あたたかくなり、水分が飛んでかわいています。
問14	答え 1 えきの先（えきだめ）	温度計は、えきの先（えきだめ）にふれているものの温度をはかる仕組みになっています。
問15	答え 2 かげの動き	太陽が動くと、それにとまってかげも動きます。この現象を「かげの動き」といいます。

問1 地面にできたかげが、時間がたつと動くのはなぜですか。

1. 太陽が動くから 2. 風がふくから 3. 地面が動くから 4. 雲が動くから

問2 時間がたつと、太陽はどの方角からどの方角へと動いていきますか。

1. 北から南 2. 西から東 3. 南から北 4. 東から西

問3 太陽を直接見ると目をいためてしまうため、しゃ光板を使うのはどのようなときですか。

1. 方角を調べる時 2. 太陽の動きや形を観察する時 3. かげの長さを調べる時 4. 日なたと日かげの温度を比べるとき

問4 日光が当たっているところのことで、地面が明るく、あたたかくて、かわいている場所を何とといいますか。

1. 日食 2. 日なた 3. 日かげ 4. 夕やけ

問5 太陽が動くと、それにとまって地面にできたかげも動く現象を何とといいますか。

1. かげの形 2. かげの動き 3. かげの長さ 4. かげの濃さ

問6 同じ場所に立っているいくつかのものに太陽の光が当たるとき、できるかげの向きについて正しいものはどれですか。

1. どれも同じ向きにできる。 2. ものの形によってちがう向きにできる。 3. ものの色によってちがう向きにできる。 4. ものの大きさによってちがう向きにできる。

問7 校庭に、棒（ぼう）や木、人間など、いろいろなものが立っています。太陽の光が当たったとき、これらのかげの向きはどうなりますか。

1. 背が高いものと低いもので向きが変わる。 2. 立っている場所によってパラバラの向きになる。 3. すべて同じ向きにできる。 4. 生き物とそうでないもので向きが変わる。

問8 温度計の目もりを読むとき、温度計に対して目の向きはどのようにしますか。

1. ななめ下から見上げる 2. ななめ上から見おろす 3. 直角（真横）にする 4. うしろからすかして見る

問9 目をいためないように、太陽を安全に見るときに使う道具はどれですか。

1. 温度計 2. 虫めがね 3. 方位磁針 4. しゃ光板

問10 日光（にっこう）が当たっている場所は、日光が当たっていない日かげとくらべて、どのようなちがいがありますか。

1. 風が強い 2. 暗い 3. あたたかい 4. つめたい

問11 理科の学習で、あたたかさを表す「温度」を書き表すときに使う、「℃」という記号はなんと読みますか。

1. センチメートル 2. びょう 3. ど 4. グラム

問12 えきの先（えきだめ）にふれているものの温度をはかるために使う道具の名前は何かですか。

1. しゃ光ばん 2. 方位磁針 3. 虫めがね 4. 温度計

問13 温度計を使ってものの温度を正しくはかる時、ものの温度が伝わるのは温度計のどの部分ですか。

1. えきの先（えきだめ） 2. ひもをつけるあな 3. ガラスのつつ 4. めもりの数字

問14 温度計の目もりを正しく読むとき、目の高さはどこに合わせますか。

1. 温度計の一番上 2. 温度計の一番下 3. えきの先 4. 液がたまっている丸い部分

問15 日光が当たっていない暗いところのことで、地面がつめたく、少ししめっている場所を何とといいますか。

1. 日なた 2. 地面 3. 太陽 4. 日かげ

答え合わせ・解説 No.2

問1	答え 1 太陽が動くから	太陽が動くと、それにとまってかげも動くため、時間がたつとかげの位置 <small>いちか</small> が変わります。
問2	答え 4 東から西	太陽は、時間がたつと東から南の空を通過して西へと動いていきます。
問3	答え 2 太陽の動きや形 <small>かんさつ</small> を観察するとき	しゃ光板は、目をいためないように太陽を直 <small>ちよくせつ</small> 接見るときに使います。
問4	答え 2 日なた	日光が当たっている場所のことを「日なた」といい、地面は明るく、あたたかくて、かわいた状態 <small>じょうたい</small> になります。
問5	答え 2 かげの動き	太陽が動くと、それにとまってかげも動きます。この現象 <small>げんしょう</small> を「かげの動き」といいます。
問6	答え 1 どれも同じ向きにできる。	もののかげは、ものの形や大きさ、色 <small>かんけい</small> に関係なく、どれも同じ向きにできます。
問7	答え 3 すべて同じ向きにできる。	もののかげは、どんなものであっても、すべて同じ向きにできます。
問8	答え 3 直角（真横）にする	温度計の目もりは、温度計に対して直角になるようにして正しく読みます。
問9	答え 4 しゃ光板	太陽の強い光から目を守り、安全に太陽を観察 <small>かんさつ</small> するために使う道具をしゃ光板といいます。
問10	答え 3 あたたかい	日光には地面や空気をあたためる性質 <small>せいしつ</small> があるため、日光が当たっている場所は日かげよりもあたたかくなります。
問11	答え 3 ど	温度を表す「℃」という記号は、「度（ど）」と読みます。
問12	答え 4 温度計	えきの先（えきだめ）にふれているものの温度をはかる道具を温度計といいます。
問13	答え 1 えきの先（えきだめ）	温度計は、えきの先（えきだめ）にふれているものの温度をはかる仕組みになっています。
問14	答え 3 えきの先	温度計の目もりを読むときは、えきの先と目の高さを合わせるのが正しい方法 <small>ほうほう</small> です。
問15	答え 4 日かげ	日光が当たっていない暗い場所のことを「日かげ」といいます。

問1 温度計を使ってものの温度を正しくはかるとき、ものの温度が伝わるのは温度計のどの部分ですか。

1. えきの先 (えきだめ) 2. ひもをつけるあな 3. ガラスのつつ 4. めもりの数字

問2 温度計の目もりを読むとき、温度計に対して目の向きはどのようにしますか。

1. ななめ下から見上げる 2. ななめ上から見おろす 3. 直角 (真横) にする 4. うしろからすかして見る

問3 温度計の目もりを正しく読むとき、目の高さはどこに合わせますか。

1. 温度計の一番上 2. 温度計の一番下 3. えきの先 4. 液がたまっている丸い部分

問4 太陽が動くと、それにとまって地面にできたかげも動く現象を何といいますか。

1. かげの形 2. かげの動き 3. かげの長さ 4. かげの濃さ

問5 かげができるのは、どのようなことがおこったときですか。

1. まわりの温度が急に下がったとき 2. 日光をさえぎるものがあるとき 3. 太陽の光がすべて消えてしまったとき 4. 日光がさえぎられずに通りぬけるとき

問6 時間がたつと、太陽はどの方角からどの方角へと動いていきますか。

1. 北から南 2. 西から東 3. 南から北 4. 東から西

問7 日光をさえぎるものがあるとき、太陽と反対側にできる暗い部分のことを何といいますか。

1. かげ 2. かげ 3. あかり 4. ひなた

問8 北に顔を向けて立ったとき、あなたの右がわにあたる方向はどれですか。

1. 北 2. 西 3. 南 4. 東

問9 地面にできたかげが、時間がたつと動くのはなぜですか。

1. 太陽が動くから 2. 風がふくから 3. 地面が動くから 4. 雲が動くから

問10 太陽が南の空を通るとき、太陽の高さはどのようになりますか。

1. 高いところを通る 2. 高さが変わらない 3. 低いところを通る 4. 地面の近くを通る

問11 日光が当たっているところのことで、地面が明るく、あたたかくて、かわいている場所を何といいますか。

1. 日食 2. 日なた 3. 日かげ 4. 夕やけ

問12 太陽を直接見ると目をいためてしまうため、しゃ光板を使うのはどのようなときですか。

1. 方角を調べるとき 2. 太陽の動きや形を観察するとき 3. かげの長さを調べるとき 4. 日なたと日かげの温度を比べるとき

問13 日かげの地面のようすについて、正しく説明しているものはどれですか。

1. つめたくて、少ししめっている。 2. あたたかくて、かわいている。 3. つめたくて、かわいている。 4. あたたかくて、少ししめっている。

問14 日光 (にっこう) が当たっている場所は、日光が当たっていない日かげとくらべて、どのようなちがいがありますか。

1. 風が強い 2. 暗い 3. あたたかい 4. つめたい

問15 同じ場所に立っているいくつかのものに太陽の光が当たるとき、できるかげの向きについて正しいものはどれですか。

1. どれも同じ向きにできる。 2. ものの形によってちがう向きにできる。 3. ものの色によってちがう向きにできる。 4. ものの大きさによってちがう向きにできる。

問16 温度計を使って空気のあたたかさをはかったとき、温度の表し方として正しいものはどれですか。

1. 20 cm 2. 20℃ 3. 20秒 4. 20 g

答え合わせ・解説 No.3

問1	答え 1 えきの先 (えきだめ)	温度計は、えきの先 (えきだめ) にふれているものの温度をはかる仕組みになっています。
問2	答え 3 直角 (真横) にする	温度計の目もりは、温度計に対して直角になるようにして正しく読みます。
問3	答え 3 えきの先	温度計の目もりを読むときは、えきの先と目の高さを合わせるのが正しい方法 <small>ほうほう</small> です。
問4	答え 2 かげの動き	太陽が動くと、それにとまってかげも動きます。この現象 <small>げんじょう</small> を「かげの動き」といいます。
問5	答え 2 日光をさえぎるものがあるとき	かげは、日光をさえぎるものがあるときに、太陽と反対側 <small>はんたいがわ</small> にできます。
問6	答え 4 東から西	太陽は、時間がたつと東から南の空を通過して西へと動いていきます。
問7	答え 1 かげ	日光がさえぎられたときに、太陽と反対側 <small>はんたいがわ</small> にできるものを「かげ」といいます。
問8	答え 4 東	北に顔を向けると、右がわは東になります。ちなみに、左がわは西になります。
問9	答え 1 太陽が動くから	太陽が動くと、それにとまってかげも動くため、時間がたつとかげの位置 <small>いちか</small> が変わります。
問10	答え 1 高いところを通る	太陽は、東から南の空の高いところを通過して、西へと動きます。
問11	答え 2 日なた	日光が当たっている場所のことを「日なた」といい、地面は明るく、あたたかくて、かわいた状態 <small>じょうたい</small> になります。
問12	答え 2 太陽の動きや形を観察 <small>かんさつ</small> するとき	しゃ光板は、目をいためないように太陽を直接 <small>ちよくせつ</small> 見るときに使います。
問13	答え 1 つめたくて、少ししめっている。	日かげの地面は、日光が当たらないため、つめたくて少ししめっています。
問14	答え 3 あたたかい	日光には地面や空気をあたためる性質 <small>せいしつ</small> があるため、日光が当たっている場所は日かげよりもあたたかくなります。
問15	答え 1 どれも同じ向きにできる。	もののかげは、ものの形や大きさ、色に関係 <small>かんけい</small> なく、どれも同じ向きにできます。
問16	答え 2 20℃	温度を表すときは、「℃」という単位 <small>たんい</small> を使って表します。

問1 温度計の目もりを正しく読むとき、目の高さはどこに合わせますか。

1. 温度計の一番上 2. 温度計の一番下 3. えきの先 4. 液がたまっている丸い部分^{えき}

問2 同じ場所に立っているいくつかのものに太陽の光が当たるとき、できるかげの向きについて正しいものはどれですか。

1. どれも同じ向きにできる。 2. ものの形によってちがう向きにできる。 3. ものの色によってちがう向きにできる。 4. ものの大きさによってちがう向きにできる。

問3 太陽が南の空を通るとき、太陽の高さはどのようになりますか。

1. 高いところを通る 2. 高さ^かが変わらない 3. 低いところを通る^{ひく} 4. 地面の近くを通る

問4 日光（にっこう）が当たっている場所は、日光が当たっていない日かげとくらべて、どのようなちがいがありますか。

1. 風が強い 2. 暗い 3. あたたかい 4. つめたい

問5 温度計を使って空気のあたたかさをはかったとき、温度の表し方として正しいものはどれですか。

1. 20 cm 2. 20℃ 3. 20秒 4. 20 g

問6 日光をさえぎるものがあるとき、太陽と反対側^{ほんたいがわ}にできる暗い部分のことを何といいますか。

1. かげ 2. かげ 3. あかり 4. ひなた

問7 地面にできたかげが、時間がたつと動くのはなぜですか。

1. 太陽が動くから 2. 風がふくから 3. 地面が動くから 4. 雲が動くから

問8 えきの先（えきだめ）にふれているものの温度をはかるために使う道具の名前は何かですか。

1. しゃ光ばん 2. 方位^{ほうい}じしん 3. 虫めがね 4. 温度計

問9 かげができるのは、どのようなことがおこったときですか。

1. まわりの温度が急に下がったとき 2. 日光をさえぎるものがあるとき 3. 太陽の光がすべて消えてしまったとき 4. 日光がさえぎられずに通りぬけるとき

問10 校庭に、棒（ぼう）や木、人間など、いろいろなものが立っています。太陽の光が当たったとき、これらのかげの向きはどうなりますか。

1. 背^せが高いものと低^{ひく}いもので向き^かが変わる。 2. 立っている場所によってパラバラの向きになる。 3. すべて同じ向きにできる。 4. 生き物とそうでないもので向き^かが変わる。

問11 北に顔を向けたとき、右がわが東、左がわが西になるような、方向をあらわす言葉を何といいますか。

1. ほうい 2. かげ 3. じかん 4. おんど

問12 日光が当たっているところのことで、地面が明るく、あたたかくて、かわいている場所を何といいますか。

1. 日食 2. 日なた 3. 日かげ 4. 夕やけ

問13 理科の学習で、あたたかさを表す「温度」を書き表すときに使う、「℃」という記号はなんと読みますか。

1. センチメートル 2. びょう 3. ど 4. グラム

問14 太陽（たいよう）から出ている光のことを、何といいますか。

1. 月光（げっこう） 2. 電灯（でんとう）^{でんとう} 3. 星の光（ほしのひかり） 4. 日光（にっこう）

問15 太陽を直接^{ちよくせつ}見ると目をいためてしまうため、しゃ光板を使うのはどのようなときですか。

1. 方角を調べるとき 2. 太陽の動きや形^{かんばん}を観察するとき 3. かげの長さを調べるとき 4. 日なたと日かげの温度^{くら}を比べるとき

答え合わせ・解説 No.4

問1	答え 3 えきの先	温度計の目もりを読むときは、えきの先と目の高さを合わせるのが正しい方法です。 <small>ほうほう</small>
問2	答え 1 どれも同じ向きにできる。	もののかげは、ものの形や大きさ、色に関係なく、どれも同じ向きにできます。 <small>かんけい</small>
問3	答え 1 高いところを通る	太陽は、東から南の空の高いところを通して、西へと動きます。
問4	答え 3 あたたかい	日光には地面や空気をあたためる性質があるため、日光が当たっている場所は日かげよりもあたたかくなります。 <small>せいしつ</small>
問5	答え 2 20℃	温度を表すときは、「℃」という単位を使って表します。 <small>たんい</small>
問6	答え 1 かげ	日光がさえぎられたときに、太陽と反対側にできるものを「かげ」といいます。 <small>はんたいがわ</small>
問7	答え 1 太陽が動くから	太陽が動くと、それにとまってかげも動くため、時間がたつとかげの位置が変わります。 <small>いちか</small>
問8	答え 4 温度計	えきの先（えきだめ）にふれているものの温度をはかる道具を温度計といいます。
問9	答え 2 日光をさえぎるものがあるとき	かげは、日光をさえぎるものがあるときに、太陽と反対側にできます。 <small>はんたいがわ</small>
問10	答え 3 すべて同じ向きにできる。	もののかげは、どんなものであっても、すべて同じ向きにできます。
問11	答え 1 ほうい	北、南、東、西などの方向をあらわす言葉をほういといいます。北を向いたとき、右が東、左が西になります。
問12	答え 2 日なた	日光が当たっている場所のことを「日なた」といい、地面は明るく、あたたかくて、かわいた状態になります。 <small>じょうたい</small>
問13	答え 3 ど	温度を表す「℃」という記号は、「度（ど）」と読みます。
問14	答え 4 日光（にっこう）	太陽から届く光のことを「日光」といいます。地球をあたたかく照らしてくれます。 <small>とど</small> <small>て</small>
問15	答え 2 太陽の動きや形を観察するとき	しゃ光板は、目をいためないように太陽を直接見るときに使います。 <small>ちよくせつ</small>

問1 温度計の目もりを正しく読むとき、目の高さはどこに合わせますか。

1. 温度計の一番上 2. 温度計の一番下 3. えきの先 4. 液がたまっている丸い部分^{えき}

問2 太陽が動くと、それにとまって地面にできたかげも動く現象^{げんしょう}を何といいますか。

1. かげの形 2. かげの動き 3. かげの長さ 4. かげの濃さ^こ

問3 日光が当たっているところのことで、地面が明るく、あたたかくて、かわいている場所を何といいますか。

1. 日食 2. 日なた 3. 日かげ 4. 夕やけ

問4 北に顔を向けて立ったとき、あなたの右がわにあたる方向はどれですか。

1. 北 2. 西 3. 南 4. 東

問5 地面にできたかげが、時間がたつと動くのはなぜですか。

1. 太陽が動くから 2. 風がふくから 3. 地面が動くから 4. 雲が動くから

問6 太陽を直接^{ちよくせつ}見ると目をいためてしまうため、しゃ光板を使うのはどのようなときですか。

1. 方角を調べるとき 2. 太陽の動きや形^{かんばん}を観察するとき 3. かげの長さを調べるとき 4. 日なたと日かげの温度^{くら}を比べるとき

問7 目をいためないように、太陽を安全に見るときに使う道具はどれですか。

1. 温度計 2. 虫めがね 3. 方位磁針^{ほういじしん} 4. しゃ光板

問8 日光をさえぎるものがあるとき、太陽と反対側^{はんたいがわ}にできる暗い部分のことを何といいますか。

1. かげ 2. かげ 3. あかり 4. ひなた

問9 理科の学習で、あたたかさを表す「温度」を書き表すときに使う、「℃」という記号はなんと読みますか。

1. センチメートル 2. びょう 3. ど 4. グラム

問10 えきの先（えきだめ）にふれているものの温度をはかるために使う道具の名前は何かですか。

1. しゃ光ばん 2. 方位^{ほうい}じしん 3. 虫めがね 4. 温度計

問11 かげができるのは、どのようなことがおこったときですか。

1. まわりの温度が急に下がったとき 2. 日光をさえぎるものがあるとき 3. 太陽の光がすべて消えてしまったとき 4. 日光がさえぎられずに通りぬけるとき

問12 温度計を使って空気のあたたかさをはかったとき、温度の表し方として正しいものはどれですか。

1. 20 cm 2. 20℃ 3. 20秒 4. 20 g

問13 温度計の目もりを読むとき、温度計に対して目の向きはどのようにしますか。

1. ななめ下から見上げる 2. ななめ上から見おろす 3. 直角（真横）にする 4. うしろからすかして見る

問14 温度計を使ってものの温度を正しくはかるとき、ものの温度が伝わる^{つたわ}のは温度計のどの部分ですか。

1. えきの先（えきだめ） 2. ひもをつけるあな 3. ガラスのつつ 4. めもりの数字

問15 北に顔を向けたとき、右がわが東、左がわが西になるような、方向をあらわす言葉を何といいますか。

1. ほうい 2. かげ 3. じかん 4. おんど

問16 日なたの地面のようすについて、正しく説明^{せつめい}しているものはどれですか。

1. 明るいが、つめたくて、しめっている。 2. 暗くて、つめたくて、しめっている。 3. 明るくて、あたたかくて、かわいている。 4. 暗いが、あたたかくて、かわいている。

答え合わせ・解説 No.5

問1	答え 3 えきの先	温度計の目もりを読むときは、えきの先と目の高さを合わせるのが正しい方法です。 <small>ほうほう</small>
問2	答え 2 かげの動き	太陽が動くと、それにとまってかげも動きます。この現象を「かげの動き」といいます。 <small>げんしょう</small>
問3	答え 2 日なた	日光が当たっている場所のことを「日なた」といい、地面は明るく、あたたかくて、かわいた状態になります。 <small>じょうたい</small>
問4	答え 4 東	北に顔を向けると、右がわは東になります。ちなみに、左がわは西になります。
問5	答え 1 太陽が動くから	太陽が動くと、それにとまってかげも動くため、時間がたつとかげの位置が変わります。 <small>いちか</small>
問6	答え 2 太陽の動きや形を観察するとき	しゃ光板は、目をいためないように太陽を直接見るときに使います。 <small>ちよくせつ</small>
問7	答え 4 しゃ光板	太陽の強い光から目を守り、安全に太陽を観察するために使う道具をしゃ光板といいます。 <small>かんさつ</small>
問8	答え 1 かげ	日光がさえぎられたときに、太陽と反対側にできるものを「かげ」といいます。 <small>ほんたいがわ</small>
問9	答え 3 ど	温度を表す「℃」という記号は、「度（ど）」と読みます。
問10	答え 4 温度計	えきの先（えきだめ）にふれているものの温度をはかる道具を温度計といいます。
問11	答え 2 日光をさえぎるものがあるとき	かげは、日光をさえぎるものがあるときに、太陽と反対側にできます。 <small>ほんたいがわ</small>
問12	答え 2 20℃	温度を表すときは、「℃」という単位を使って表します。 <small>たんい</small>
問13	答え 3 直角（真横）にする	温度計の目もりは、温度計に対して直角になるようにして正しく読みます。
問14	答え 1 えきの先（えきだめ）	温度計は、えきの先（えきだめ）にふれているものの温度をはかる仕組みになっています。
問15	答え 1 ほうい	北、南、東、西などの方向をあらわす言葉をほういといいます。北を向いたとき、右が東、左が西になります。
問16	答え 3 明るくて、あたたかくて、かわいている。	日なたは日光が当たっているため、地面は明るく、あたたかくなり、水分が飛んでかわいています。 <small>と</small>